

令和7年度 学校関係者評価報告書

1 学校の教育目標

自動車・機械・建築・生命工学及び情報処理を中心とする工業分野で役立つ人材を育成し、我が国の産業の発展に寄与する。

2 学校の教育目標や計画に対する評価・意見

(1) 教育理念について

「個性の伸展による人生錬磨」という教育理念に対して、その個人が持ちうる能力を最大限に活かして社会で活躍できる人材の育成を目指した教育はとても共感でき、学校全体としてその理念を追求しようとする姿勢がよく理解できる。在学中の教育だけでなく、卒業後の各個人の人生を見据えた実践的な教育が実施され、少人数制だからこそ、一人ひとりの特徴を捉えた教育が実現できていると思う。

(2) 事業計画について

今年度も事業計画にそって済々と実行されていた。特に学生支援に関する、就職支援体制の確立については、年々早期化する就職活動への対応や大手企業との連携を強化している点が評価できる。今後も新規企業の開拓に努め、さらに学生の選択肢が広がるような活動を継続的に実施してもらいたい。

(3) 実践的な教育環境への評価

まさに今、社会で求められている知識や技術を有し、豊富な実務経験を持つ先生方が教育に携わられており、その経験に基づく実践的な話を学びの場で聞くことができるのは大変有意義なことだと感じる。特に、多くの科目において実務経験豊富な先生方が担当されていることは、学生にとって非常に心強く、将来の職業観や学習意欲の向上にもつながっていると思う。

(4) 組織の一員としての責任感を育む

近年の若者の特徴として、組織に属して活動することに苦手意識を持つ人も少なくないと思う。しかし、卒業後は、多くの学生が組織の一員として社会に出ることになる。そのため、この2年間で社会人としての心構えを身に付けるとともに、組織の一員として責任感を持って行動する姿勢や周囲と協力しながら目標達成に向けて主体的に取り組む力を養うことは非常に重要であると考えます。職業体験をさせていただける企業もあるため、そちらへの参加も積極的に行うと良いと思う。

(5) 国際感覚を持った社会人の育成

東南アジアを中心に留学生の入学があり、文化、言葉、風習、価値観等それぞれの国での違いを感じることができ良いと思う。

(6) 豊かな人生を送るための素養の涵養

この2年間で社会人としての心構えを身に付け、協調性、主体性を涵養していくことが重要である。考えの甘い学生も見受けられるとのこと。社会へ出る前の学校として精神面の成長を促す教育を期待したい。

3 評価項目の達成及び取組状況

< 評価点 : 4 適切、 3 ほぼ適切、 2 やや不適切、 1 不適切 >

(1) 教育理念・目標	: 4.0
(2) 学校運営	: 4.0
(3) 教育活動	: 3.8
(4) 学修成果	: 3.6
(5) 学生支援	: 4.0
(6) 教育環境	: 3.7
(7) 学生の受入れ募集	: 3.9
(8) 財務	: 3.9
(9) 法令等の遵守	: 4.0
(10) 社会貢献・地域貢献	: 3.5
(11) 国際交流	: 4.0

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1) 良好な点

- ア 学校運営、学生支援、法令遵守及び国際交流等適切に実施されている。
- イ 教務・学生・就職・広報の各部門間の連携が取れている。また、担任と学生間の関係性も良好で「面倒見の良い学校」と評価できる。
- ウ 教育教材の入れ替えが行われ、ストレスが減少されるような環境となった。
- エ 就職に関して特に力を入れて学生の支援をされていることがよく理解できた。特に、学内での説明会が積極的に行われており、学生たちの選択の幅が広がった。
- オ 前年に引き続き、冷房・暖房の適切な利用で節電、経費削減に取り組んでいる。
- カ 勉学意欲、出席管理、アルバイト指導等年々留学生の在籍管理について醸成してきていると思われる。

(2) 改善すべき点

- ア 留学生の日本語能力を向上させえるための補習授業等をもっと取り入れるべきだ。
- イ 学修成果について検定試験の上位級受験が少ない
- ウ 学内の ICT 化があまり進んでおらず不十分である。
- エ 社会貢献・地域貢献についてについて積極的な取り組みが必要である。

5 今後の対応に向けて（提言）

- (1) ICT 教育に向けた学内教育環境の整備が必要。
- (2) 校舎の老朽化に伴い、改修工事を望む。
- (3) 地域の皆さんや社会に貢献できる人材の育成を期待する。